

2026年2月27日

報道関係者各位

三井不動産レジデンシャル株式会社
京阪電鉄不動産株式会社

水都大阪の美しい風景に包まれる 30 階建・総戸数 161 戸のタワーレジデンス 「パークタワー大阪天満橋」 2026年3月1日（日）より第1期販売開始

本物件の特長

1. 大川の南・東 二方向がリバーフロントに位置する「水都大阪の特等席」
2. 水都大阪の美しい水と緑の風景と、開放感を最大限に取り込む外観・共用空間デザイン
3. 眺望を体感できる「LED ビジョン」や「VR/MR ヘッドセット」を導入した新感覚のモデルルーム

三井不動産レジデンシャル株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：嘉村 徹）、京阪電鉄不動産株式会社（本社：大阪市中央区、代表取締役社長：道本 能久）は、2026年3月1日（日）より新築分譲マンション「パークタワー大阪天満橋」（以下、本物件）の第1期販売を開始することをお知らせします。

本物件は水都大阪を象徴する大川を望む、地上 30 階建・総戸数 161 戸のタワーレジデンスです。南・東二方向に広がるリバーフロントに加え、春は大阪を代表する桜の名所、夏は日本三大祭りの一つ「天神祭」の船渡御や奉納花火が川面を彩る稀少性の高い立地で、Osaka Metro 谷町線・京阪本線・京阪中之島線「天満橋」駅徒歩 6 分をはじめとする 5 駅 5 路線が利用できることから、「水都大阪」ならではの魅力を最大限に享受できるライフスタイルの提供を目指します。

販売拠点となる大阪レジデンシャルサロン（所在：大阪府大阪市）内のモデルルームには、本物件の最大の特長の一つである爽快な眺望を体感するための施策として複数フロアからの眺望を再現する「LED ビジョン」と、住まいの窓に広がる風景を没入感たっぷりに体感できる「VR/MR ヘッドセット」を導入。さらに、壁面・床面に映像を投写する「ダイナミックシアターシステム」による、本物件のコンセプトムービーも視聴いただけます。



パークタワー大阪天満橋 外観完成予想 CG ※1

1. 大川の南・東二方向がリバーフロントに位置する「水都大阪の特等席」

本物件の計画地は、大阪を代表する桜の名所である「大川」が南と東の二方向に広がるリバーフロントの立地です。また、京都の「祇園祭」、東京の「神田祭」と並ぶ日本三大祭りである「天神祭」の舞台でもあり、煌びやかな船が行きかう「船渡御」や、祭りのクライマックスを飾る奉納花火を目の前に望む、まさに水都大阪の特等席と呼ぶにふさわしい場所です。

さらに、Osaka Metro 谷町線・京阪本線・京阪中之島線「天満橋」駅徒歩 6 分、JR 東西線「大阪天満宮」駅徒歩 12 分、Osaka Metro 谷町線・堺筋線「南森町」駅徒歩 15 分に位置し、5 駅 5 路線が利用可能です。また、京阪天満橋駅直上の複合商業施設「京阪シティモール」をはじめとする生活利便施設が徒歩圏に充実。大阪市立滝川小学校や大阪市立北陵中学校などの教育施設も近くにあり、潤い豊かな自然景観と多層的な都市機能が集積する、多世代にとって暮らしやすい住環境が整っています。



外観完成予想 CG ※1



外観完成予想 CG ※2

2. 水都大阪の美しい水と緑の風景と、開放感を最大限に取り込む外観・共用空間デザイン

本物件では、水都大阪の美しい風景の魅力を取り込みます。外観（ファサード）は、眼前に流れる大川の水面と空を緩やかに繋ぐデザインで、周辺との一体感を表現。共用空間には「水の性質」をデザインモチーフに、1 階エントランスホールには住宅として初めて※「実際の水を用いて揺らぎを表現する波紋照明演出《HAMON》」を採用しました。床面・壁面に水の波紋を投影することで大川の水辺がもたらす心地よさを建物内部に引き込み、上質なくつろぎの時間を過ごせる迎賓空間に仕上げます。

また、3 階にはコンセプトの異なる 2 つのラウンジ、ゲストルーム、集会室などの共用施設を配置し、南面・東面に大きく開口部を設けることで、大川の水と緑、春の桜、ダイナミックなパノラマ眺望を堪能できる設えとしています。

※ 実際の水を用いて揺らぎを表現する波紋照明「HAMON」を採用するのは「住宅として初」（株式会社ウォーターパール調べ）



River Flow Lounge（3階）完成予想 CG



Aqua Lobby（1階）完成予想 CG ※3



Hamon Lounge（3階）完成予想 CG ※3



Guest Room -CALM-（3階）完成予想 CG

3. 眺望を体感できる「LED ビジョン」や「VR/MR ヘッドセット」を導入した新感覚のモデルルーム

大阪レジデンシャルサロン内のモデルルームには、大川沿いのタワーならではの爽快な眺望や開放感あふれる暮らし心地を体感できるよう、複数フロアからの眺望を再現する「LED ビジョン」、住戸の窓から広がる風景を没入感たっぷりに再現する「VR/MR ヘッドセット」、壁面・床面に映像を投写する「ダイナミックシアターシステム」など、多様な演出で本物件が誇る眺望の魅力をご体感いただけます。

① 「LED ビジョン」



モデルルーム (Living) 写真 ※4



モデルルーム (Living Dining) 写真 ※4

高精細・高画質 LED ビジョンで住戸内からの眺望イメージを投影。超高層タワーならではの開放感あふれる暮らし心地を体感できます。

② 「VR/MR ヘッドセット」



「Meta Quest 3」
使用イメージ



現地 13 階相当の高さからの眺望写真 ※5

Meta 社の VR/MR ヘッドセット「Meta Quest 3」で、各フロア・各方位からの眺望を投影。大川の南・東 2 方向リバーフロントならではの爽快な水景と、河川敷に広がる緑のみずみずしい風景を眺める開放感あふれる暮らし心地を没入感たっぷりに体感できます。

③ 「ダイナミックシアターシステム」



シアタールーム



外観完成予想 CG ※6

壁面だけでなく、床面も映像を投写するダイナミックシアターシステムで、本物件のコンセプトムービーを上映。大川の南・東 2 方向リバーフロントに位置し「水都大阪の特等席」である立地や、水都大阪の水と緑の美しさと開放感を最大限に取り込む外観・共用空間デザインといった本物件の魅力を迫力ある映像表現でお伝えします。

■「パークタワー大阪天満橋」物件概要

物件名称	パークタワー大阪天満橋
所在地	大阪府大阪市北区天満一丁目1番3(地番)
交通	Osaka Metro 谷町線・京阪本線・京阪中之島線「天満橋」駅 徒歩6分
用途地域	第二種住居地域
構造・規模	鉄筋コンクリート造 地上30階建
敷地面積	1,712.80㎡
間取り	1LDK・2LDK・3LDK
専有面積	43.21㎡～156.38㎡
総戸数	161戸(一般販売対象戸数96戸)
竣工時期	2028年1月下旬(予定)
事業主	三井不動産レジデンシャル株式会社、京阪電鉄不動産株式会社
設計・施工	株式会社IAO 竹田設計・株式会社鍛冶田工務店
オフィシャルHP	https://www.31sumai.com/mfr/K2201/

■位置図



※1.掲載の外観完成予想CGは、現地周辺の写真(2024年4月撮影)に完成予想CGを合成したもので、実際とは異なります。※2.掲載の外観完成予想CGは、現地29階相当の高さ(約92m)からの東方面の眺望写真(2024年7月撮影)と天神祭奉納花火(2024年7月撮影)に完成予想CGを合成したもので、実際の住戸からの眺望とは異なります。本表示は販売住戸から花火が見えることを保証するものではありません。※3.掲載の各共用部の完成予想CGは、計画段階の図面を基に描き起こしたもので、形状・色等は実際とは異なります。施工上の都合、行政官庁の指導等により変更が生じる場合がございます。なお、形状の細部、設備機器等は表現しておりません。表現されている植栽は初期の生育期間を経た状態のものを想定して描いており、竣工時は植物の生育を見込んで必要な間隔をとって植えております。共用部の家具・調度品・照明等は変更となる場合がございます。共用施設のご利用は、管理規約等に従っていただきます(一部施設は予約制・有料となります)。掲載のリバーフロウラウンジ完成予想CGは、現地3階相当の高さ(約10m)から南東方面を撮影した眺望写真(2024年4月撮影)に完成予想CGを合成したもので、実際とは異なります。※4.掲載の写真はモデルルーム(S-74)タイプを2025年8月に撮影したもので、一部有償オプションを含みます。オプションおよびメニュープランのお申込みには期限があります。家具・調度品は販売価格に含まれていません。詳しくはスタッフにお問い合わせください。※5.掲載の眺望写真は、現地13階相当の高さ(約44m)よりパノラマ撮影(2024年12月撮影)したものに一部CG加工を施したもので、実際の住戸からの眺望とは異なります。眺望・景観は、各階・各住戸により異なり、今後周辺環境の変化に伴い変わる可能性があり、将来にわたって保証されるものではありません。※6.掲載の外観完成予想CGは、現地南東方向からの航空写真(2024年7月撮影)と天神祭奉納花火(2024年7月撮影)に完成予想CGを合成したもので、実際とは異なります。本表示は住戸から花火が見えることを保証するものではありません。眺望・景観は、各階・各住戸により異なり、今後の周辺環境の変化に伴い将来にわたって保証されるものではありません。また、天神祭及び天神祭奉納花火は、今後、開催の中止や場所・内容などの変更が生じる可能性があります。

■三井不動産グループのサステナビリティについて

三井不動産グループは、「共生・共存・共創により新たな価値を創出する、そのための挑戦を続ける」という「&マーク」の理念に基づき、「社会的価値の創出」と「経済的価値の創出」を車の両輪ととらえ、社会的価値を創出することが経済的価値の創出につながり、その経済的価値によって更に大きな社会的価値の創出を実現したいと考えています。

また、2024年4月の新グループ経営理念策定時、「GROUP MATERIALITY（重点的に取り組む課題）」として、「1. 産業競争力への貢献」、「2. 環境との共生」、「3. 健やか・活力」、「4. 安全・安心」、「5. ダイバーシティ&インクルージョン」、「6. コンプライアンス・ガバナンス」の6つを特定しました。これらのマテリアリティに本業を通じて取組み、サステナビリティに貢献していきます。

【参考】・「グループ長期経営方針」

<https://www.mitsuifudosan.co.jp/corporate/innovation2030/>

・「グループマテリアリティ」

https://www.mitsuifudosan.co.jp/esg_csr/approach/materiality/

■三井不動産レジデンシャル「カーボンニュートラルデザイン推進計画」について

https://www.mfr.co.jp/content/dam/mfrcojp/company/news/2022/0315_01.pdf

すまいの高性能・高耐久化による省エネルギーの実現や、再生可能エネルギーの導入を促進するとともに、ご入居後の暮らしにおいても、楽しみながら省エネルギー行動等の環境貢献に取り組んでいただけるようなサービスの提供を推進し、すまいと暮らしの両面からカーボンニュートラルの実現を目指していきます。